

(1) 年 教科【 社会 】

使用教科書	新編 新しい社会・歴史 新編 新しい社会・地理	
学習の目標 ・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・地球の地形的特色や気候について学習し、地域ごとに異なる人々の生活について資料を基にまとめることができる ・世界の諸地域について、産業面を中心に学習し、統計や資料をもとに関連付けを行うなどの技能を身につける。 ・各資料を通して人類誕生と古代国家の成立について学習し社会の変化や文化の発達について理解する ・武家社会の成立とその移り変わりについて、各資料を通して学習し、社会の変化と各事象の因果関係をについて理解する ・身につけた知識をもとに各社会的事象の特徴を自分の言葉で説明する力を身につける 	
年間の 授業内容	前 期	4 月 世界の姿（7 時間） 5 月 日本の姿（6 時間） <hr/> 6 月 世界各地の生活と環境（10 時間）【ここまでの前期中間試験範囲】 7 月 世界の古代文明と宗教のおこり（5 時間） 日本列島の誕生と大陸との交流（3 時間） <hr/> 9 月 古代国家の歩みと東アジア世界（奈良時代まで）（5 時間） 平安遷都～国風文化（3 時間）【ここまでの前期期末試験範囲】
	後 期	1 0 月 アジア州（7 時間） ヨーロッパ州（5 時間） 1 1 月 アフリカ州（4 時間） 北アメリカ州（5 時間）【ここまでの後期中間試験範囲】 <hr/> 1 2 月 南アメリカ州（4 時間） 1 月 オセアニア州（4 時間） <hr/> 2 月 武士の台頭・院政（2 時間） 鎌倉幕府の成立～元寇～鎌倉幕府の滅亡（6 時間）【ここまでの後期期末試験範囲】 <hr/> 3 月 南北朝の動乱と室町幕府の成立（2 時間） 室町時代の産業文化の発達と応仁の乱（4 時間） 地形図（3 時間）
特色ある 学習など	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した知識をもとに、資料や ICT を活用して少人数で取り組む問題解決学習を行う。 ・単元のまとめとして思考ツールを活用し、単元の内容のつながりを関連付けさせる。 ・小テストを行い知識の定着を確認する。 	
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・地図や統計、資料を正しく読み取り、学習課題の解決を行うことができる。【知識・技能】 ・地名や地形、人物や出来事などの基礎知識を身につけることができる。【知識・技能】 ・学習内容をもとに、自分の考えを簡潔にまとめ、伝えることができる。【思考・判断・表現】 ・社会に興味を持ち、発表や課題解決学習に意欲的に取り組むことができる。 <p style="text-align: center;">【主体的に学習に取り組む態度】</p>	
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・学習への参加状況、ノート作成による取り組み状況、単元まとめ活動、小テスト、基礎学テスト、定期テストによって総合的に評価する。 	
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・予習をしてきて、授業に意欲的に参加をすること。 ・ワークシートや配布資料が多いので、ノートに貼って管理をていねいに行う。 ・B5 のプリントが貼れる A4 のノートを使用する。 ・テスト前の課題や単元のまとめの活動などの課題を提出期限までに取り組む。 	